

火切り

選塊・Split glass

当社で行われているガラス切断方法の一つで、ガラス会社ならではのカット方法かもしれません。

専用の道具と経験が必要。危険なため安易にマネはしないでください。

火切りは見ていると、とても簡単ですが、専用の道具と、独自のノウハウが必要です。

火切り切断したガラスの断面は透明で、なおかつ独特のテクスチャーを残す事もできます。

装飾では火切りを応用してガラスを造形する事を「選塊作業(選塊せんかい/Split glass)」と呼び、仕上げの加工に応用する事もあります。

例えば、切断機でガラスを切断すると、切断面は不透明で透明にするには研磨が必要です。しかし、火切りは「切る」というより「割る」に近い作業なので、切断面は透明なまま。つまり、切断機で切断するよりも早く、ガラスらしさを残して切ることができます。

ただし、火切りにはリスクがあります。

作業者はガラスの割れ方を予測しながら作業をしますが、必ずしも予測通りには切れません。火切りは本来仕上げ用の作業ではないため、必ず材料に打痕が残るほか、欠け・カン・ヒビ・側面ダメージなどがガラスに残ってしまう事も多く、端に近い部分など火切りが出来ない事もあります。

火切りを仕上げ手段として考える場合、必ずそのメリットとデメリットを秤にかける必要があります。

《メリットとデメリット》

》メリット

- ◇短時間での切断が可能
- ◇切断面の研磨が不要
- ◇独特の風合い(テクスチャー)がつく

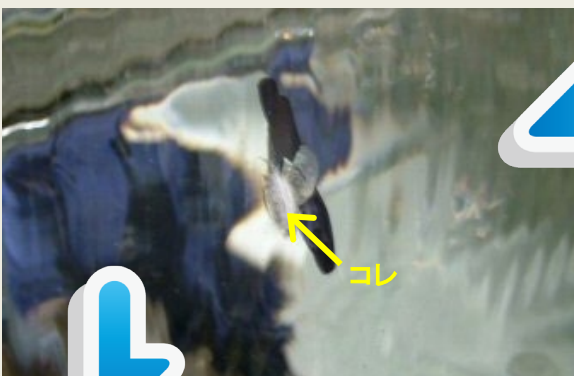
》デメリット

- ◆ガラスに打痕等が残る
- ◆どう割れるかわからない
- ◆切断できない場所がある

《火切りの方法》

1. ガラスの切断部分中央にハンマーで傷(カン)をつける。

2. きれいなカンが入っているか確認。



3. カンを入れた場所及びその周辺にバーナーをあてる。 ※バーナーのあて方でもガラスの割れ方が変わる

4. ガラスが割れる。
※選塊の場合はガラスの凸部を少しずつ削り落とす



《火切り例》 味?はあるけど良いとは言えない例



《Split glass・選塊作品例》



デザイン：ケイ空間工房

◇オブジェ◇



◇脚◇



◇板◇